

# 忍岡小 だより



台東区立 忍岡小学校  
Shinobu Elementary School

〒110-0008 東京都台東区池之端2丁目1番22号  
TEL: 03-3822-4661 FAX: 03-5685-3591  
HP: <http://www.taitocity.net/shinobu-es/>

校長 松田 正昭

令和8年1月8日

## 令和8年は、忍岡小学校の新たな歴史の始まりです

校長 松田 正昭

あけましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様にとりまして、本年も素晴らしい1年となりますことを心よりお祈りいたします。本年も忍岡小学校の教育活動に御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、明治8年（1875年）の開校以来、忍岡小学校が創立150周年を迎えた記念すべき大きな節目の年でした。令和7年11月22日には、台東区長を始め、160名以上の御来賓をお招きして台東区立忍岡小学校創立150周年記念式典を挙行了しました。在籍している全校児童、保護者の皆様、地域の皆様、同窓生の皆様、関係諸機関の皆様、歴代校長先生方を始めとした旧教職員の皆様、そして、本校現教職員等、忍岡小学校に思いを寄せてくださっている皆様と共に、創立150周年をお祝いできたことは幸甚の至りです。全ての方々ととりまして、末永く心に残る創立150周年になったことと存じます。

さて、創立150周年記念式典10日前の11月12日、近隣の東京大学の先生を講師にお招きし、本校4・5・6年生が参加して、「わたしたちもまちのデザイナー」を演題とした創立150周年記念講演会を開催しました。講師によると、まちのデザインは「私発協働」だといわれているとのことでした。「私発協働」とは、「『私』から始まり、周囲をゆるやかにひきつけ、共に力を発揮し合うことを通じて『公共の幸福』に導く一連のプロセス」を指すそうです。その概念は、建築・都市計画の観点からまちづくりに取り組んできた建築家・都市研究者・都市計画家である工学博士 延藤 安弘 氏によって提唱されたもので、2001年以降の様々な書籍の中で触れられるようになったとのことでした。

講師から「不忍池の魅力をひきだすまちづくり」についてのお話をいただいた後、それを受けて4・5・6年生が、互いにアイデアを出し合いました。児童たちは、「私発協働」の理念を踏まえ、①私が始めてみんなと取り組む②最小の取組で、最大の効果を出す③ほかの人の心地よさをじゃましないという3つの視点でまちづくりについて考え、大人では想像できない素晴らしいアイデアを絵や文で表現しました。「まちの魅力をどのようにして引き出すのか」を考えることをとおして、地域への愛着と誇りを深め、地域の未来について思いや願いを膨らませることができました（下の枠内は、児童たちのアイデアの一例です）。

- ・芝生の場所、寝転がってもいい場所がほしい
- ・ボートをライトアップすると、きれいなんじゃない？夜も漕げる！
- ・水上音楽堂を能舞台としても使えるようにしてほしい！伝統文化を伝えたい
- ・自然の中で勉強できる場所があるといい
- ・バス停に本棚をつくったら、待ち時間が楽しくなる！



忍岡小学校は、明治、大正、昭和、平成、令和と長い間地域に支えられて、150年の歴史と伝統を誇る小学校になりました。そして、令和8年は、忍岡小学校がまた新たな歴史を紡いでいく第一歩となります。令和8年も、学校の教育目標である「がまん強い子 考える子 思いやりのある子 健康な子」の実現を目指して教育活動を推進してまいります。自らすすんで行動し、夢や希望をもって自らの手で未来を切り拓き、心豊かでたくましい児童を育てるよう、忍岡小学校の全教職員が一丸となって教育活動の充実と発展のために努力いたす所存です。忍岡小学校で学ぶ児童たち一人一人が自分の可能性を膨らませ、明るく希望に満ちた地域や社会を創造し、積極的に貢献できる人へと成長できますよう、これからも、忍岡小学校を愛する皆様と共に歩みを進めてまいりたいと存じます。